

# 原発 **0** にむかって

2012年6月27日 No.23

<http://www.tokyominiren.gr.jp/>

編集・発行／東京民医連事務局 tel: 03-5978-2741 fax: 03-5978-2865 mail: sien@tokyominiren.gr.jp

## 東京都に避難している被災者と懇談

現代社会ゼミの東大生

東京民医連が東京大学教養学部で開講している「医療と福祉の現場から学ぶ現代社会ゼミ」に今期は30人を超す東大生が受講しています。今回は、「福島原発事故と低線量被曝」のテーマに所属している学生が福島県から江東区にある36階建ての国家公務員宿舎・東雲住宅に避難されてきている4人の方を扇橋診療所の職員に紹介していただき、お話を伺ってきました。すでに4人の方が自殺しているなど、報道されない避難の実態が語られました。学生の感想文(抜粋)を紹介します。



### ●辛い思いを強いられる人々のことを考えるべき

「東電本社前で自殺したい、この苦しみは実際に体験した人でしかわからない、といったお話を伺って私は事故現場の凄惨さや避難生活の大変さを知り、自分の今の暮らしがいかに贅沢なものであるかを知りました。東大生はやはり今後の日本を担うという使命があると思います。その中にはリーダーシップをとって決断せねばならない場面が数多く存在すると思います。その際に普通は自分の利益のみを追求しがち(東京電力)ですが、やはり自己中心的になれば必ず誰か辛い境遇を強いられる人がいます(原発事故被害者の方々)。そのときには、たとえ自己中心的な決定が楽な進捗とはいえ、辛い思いを強いられる人々のことを考

えるべきだと思います。よって私は電力会社の利益のみを追求した原発には反対です。」(東京大学理科I類1年生)

### ●東電の賠償が遅々として進まないことに危機感も芽生えた

「一番衝撃を受けたのはこちらに避難しに来られている方たちが現在もなおつらい思いをし続けているという事実でした。震災からある程度の時間が経過したことによって僕は今も避難を続けている人たちがいるということをはほとんど意識しないようになっていましたし、当然そうした人たちの現状について考えてみることもありませんでした。当事者ではない僕には具体的にどれほどつらい思いをされているかは想像するしかありませんが、避難しに来ている人たちが住みたくもない環境で先の見通しも全くないまま暮らし続けることを強いられるという事実は認識しました。また、このまま東電の賠償が遅々として進まないという状況は相当まずいのではないかと危機感も芽生えました。お話全体を通して今回の原発事故がどれほど悲惨なものだったかということを変更して思い知りましたし、原発をなくさなければならないという気持ちもいっそう強くなりました。」(東京大学理科I類1年生)

### 「原発ゼロ・ハガキ署名」を活用しましょう

すみだ共立診療所では、外来の待合で患者さん一人ひとりに訴えながら「原発ゼロ」のハガキ署名を手渡し、177筆の署名を集めています。



さようなら原発10万人集会

2012 **7/16** MON  
(海の日)

代々木公園 イベント広場・ケヤキ並木・サッカー場

東京民医連の参加目標

☆ **1900人!**